

自治体名	岡山県高梁市教育委員会 担当課：子ども教育課 電話番号：0866-21-1508
------	---

1. 事業の概要について

1.1 基本情報（令和4年度4月末時点）

① 中学校数	6校	② 生徒数	545人	③ 部活動数	34部活
--------	----	-------	------	--------	------

1.2 地域における現状・課題

・少子化に伴い、単一の学校では大会等に参加できない競技が複数存在する。その際には、複数校での合同チームを結成するが、年度や大会ごとに学校の組み合わせが異なる場合があり、生徒にとって継続的な活動の妨げになっている現状がある。また、競技未経験者が顧問になることによって、生徒が専門的な指導を受けにくい状況もある。

1.3 実践研究における取組目標

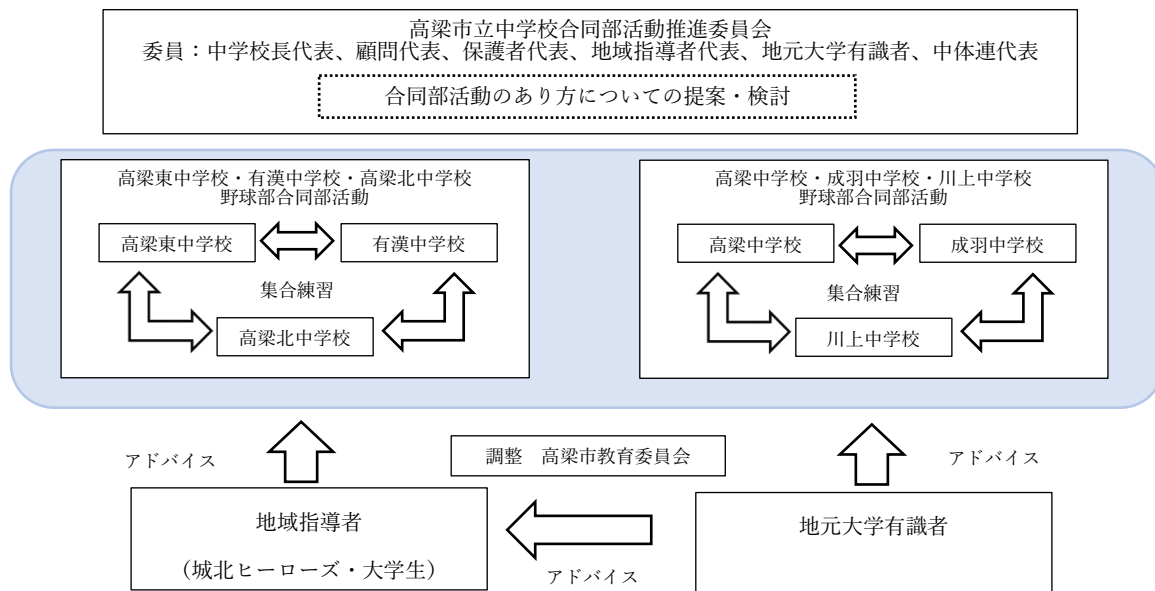
○市内全6中学校の野球部で実施する。6校を①高梁東中・高梁北中・有漢中、②高梁中・成羽中・川上中の2グループに分けて合同部活動を実施する。

○平日の放課後に集合しての活動は難しいが、ICTを活用することで、主となる指導者からのアドバイス等を日常的に行っていくことで、生徒の継続的な活動へつなげていく。また、地元大学の有識者にICTを活用してのアドバイスやコンディショニングチェック等を実施することで、科学的根拠に基づいた指導を行い、生徒の技術向上、負傷防止に努める。

○生徒の移動手段については、平日（授業日）に移動しての活動は想定していない。休日の合同練習時に複数校のいずれかの活動場所や市外への移動が伴うと考えられる。その場合の効率的な移動方法を検証していく。

○学校教員と保護者や地域の方（指導者）、地元大学有識者からなる推進委員会を結成し、合同部活動の現状や課題を定期的に確認し、よりよい合同部活動のあり方を検証していく。

1.5 実践研究の運営体制



2. 地域連携や地域移行の推進に向けた体制整備の取組について

・中学校長代表、顧問代表、保護者代表、地域指導者代表、地元大医学有識者、中体連代表による高梁市立中学校合同部活動推進委員会の開催

・令和5年度は、野球部に加え、バレーボール部においても合同部活動を実施予定。その他の競技についても、競技の特性や地域関係団体の状況に応じた合同部活動のあり方について部会を立ち上げ検討をする。

### 3. 実践研究校における取組について

#### 3.1 実践研究校情報

① 実践研究校数	域内全 6 中学校のうち、6 校が実践研究に参加
② 実践研究に取り組んだ部活動数	6 部活
③ 種目	野球

《主な取組例（1）》…高梁市立高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校、高梁中学校、成羽中学校、川上中学校

① 種目	野球	④ 参加者数	36 人
② 活動日	土曜日 長期休業中の平日	⑤ 活動場所	高梁北中・成羽中グラウンド うかんスポーツパーク ききょう緑地グラウンド
③ 指導者人数	14 人	⑧ 謝金単価(1 人あたり)	指導者 : 1,600 円/時間
④ 指導者属性	外部指導者については地元スポーツ少年団指導者や吉備国際学硬式野球部より派遣		
⑤ 参加会費の有無・金額	徴収なし		
⑥ 移動手段	休日は保護者送迎、長期休業中の平日は市バスにて送迎を実施		
⑦ 合同チームとしての大会参加状況	合同チームとして、中体連主催の大会に 1 回参加		

#### 3.2 参加者の声（生徒、保護者、教師、指導者、地域住民等）

- ・大学生が参加することで、中学生にとってよいアドバイスや見本となるプレイを見ることができ、よかった。また、回数を重ねることにより、中学生との関係性ができ、より適切なアドバイスを受けたり、中学生からもコミュニケーションをとったりする様子が見られた。
- ・地域指導者が入ることで、競技経験のない顧問にとって、専門的な指導や支援が受けられた。大学生自身の大会スケジュール等により、オフシーズン中心の指導になってしまったので、年間をととして継続的に指導に入ってほしいという要望もあった。
- ・大学生指導者は、教職課程を受講しており、将来教員を志している学生も多く、今回の指導経験が貴重なものになった。

#### 3.3 各実践校での取組を通じて挙げた課題や解決方法、取組において特に工夫した点

- ・生徒移動手段については、休日は保護者送迎、長期休業中の平日で保護者送迎が依頼できない場合は市バスを活用した。
- ・平日（授業日）の放課後にも、大学生がそれぞれの中学校の練習に参加して、顧問の支援を行った。
- ・活動に必要な道具（ボール等）の確保については、会場校のものを利用したり、各校が持ち寄りして対応した。今後、他競技にも合同部活動を拡大することを視野に入れ、必要な道具の準備や管理の方法を検討する必要がある。

### 4. 実践研究の成果と今後の課題

#### 4.1 実践研究での検証から得た成果

- ・学校教員と保護者や地域の方（指導者）、地元大学有識者からなる高梁市立中学校合同部活動推進委員会を開催し、令和 5 年度以降の高梁市における部活動の地域移行についての方向性（令和 5 年度以降は野球部に加え、バレーボール部でも合同部活動を実施する。）を決定した。
- ・高梁市内全 6 中学校を 2 グループ（①高梁東中学校、高梁北中学校、有漢中学校グループ、②高梁中学校、成羽中学校、川上中学校グループ）に分けて合同部活動を実施した。活動日数（休日・長期休業中）は 35 日、大学生指導者に参加は延べ 61 日（平日も含む）であった。（平日は各中学校での練習に大学生指導者が参加した。）
- ・教育委員会こども教育課だけでなく、スポーツ振興課と連携しながら、合同部活動を進める体制が確立できた。

#### 4.2 地域連携・地域移行における今後の課題

- ・持続可能な指導を行えるように地元大学や地域スポーツ団体等と連携しながら、指導者を確保するとともに、派遣団体と協力しながら指導者の資質向上のための研修等を充実させる。
- ・生徒の移動手段について
- ・持続可能なチーム編成に向けた協議
- ・財源の確保



【高梁市】実践研究の成果物

《高梁東中・高梁北中・有漢中 合同部活動の様子》







《高梁中・成羽中・川上中 合同部活動の様子》

